



平井小ではエイズ教育公開授業



感染者も交えた「エイズを考える高校生のつどい」

鹿島中でのインターネット学習

エイズ教育の実践から 命の大切さを学ぼう

鹿嶋市は平成11年度から13年度の3年間、文部科学省から「エイズ教育(性教育)推進地域」の指定を受け、小学校・中学校・高校でそれぞれの年齢に合わせたエイズ教育を実施しています。エイズ教育を通して、日常生活を見つめ直すとともに、命の大切さや人権などを幅広く学習し、啓発・実践活動を展開しています。

エイズ教育推進地域の指定を受けた平井小、鹿島中、鹿島高、鹿島灘高の4校を中心に、市内公立全校では実践研究に取り組んでいます。2月6日には、平井小でエイズ教育の公開授業研究会が開催されました。1年生は健康な生活を送るために清潔な体を保とうと、がらだピカピカ大きくせん」をテーマに、汗をかいたり、汚れやすい体の部分の洗い方や入浴の方法を学習しました。2年生はかけがえのない命の大切さを学ぼうと、胎児の生育のビデオ学習です。また3年生

は夜更かしによる体や生活への影響を話し合い、健康と睡眠との関係を考えました。6年生は体育館で研究発表。ポスターやチラシ、紙芝居、劇、放送、ビデオ、それにホームページなど八つの方法で、エイズ対策を啓発するコーナーが設けられました。エイズ教育を通しての研究テーマは、すこやか・とうとさ・やさしさ、ここを見つめる児童生徒の育成です。小・中・高でそれぞれに目標を定め、エイズの基本的な知識の学習・研究や啓発活動の実践から、感染者への偏見や差別をなくし、自分と他人を愛することや、命の大切さなどを学んでいます。

小学校の学習内容

すこやかなところやからだの児童

すこやか

低学年
健康な生活を送るために体を清潔にする命の大切さ

中学年

病気の感染経路と衛生的な生活習慣
人との正しい接し方

高学年

エイズという病気のあらまし
エイズについての誤った考えを正し、
人格を大切にすること

中学校の学習内容

自分や他人の良さがわかり、命を大切にできる生徒

とうとさ

エイズの概要、感染経路、症状、まん延の原因、予防方法
偏見や差別をなくすために人格を尊重する態度や行動の大切さ

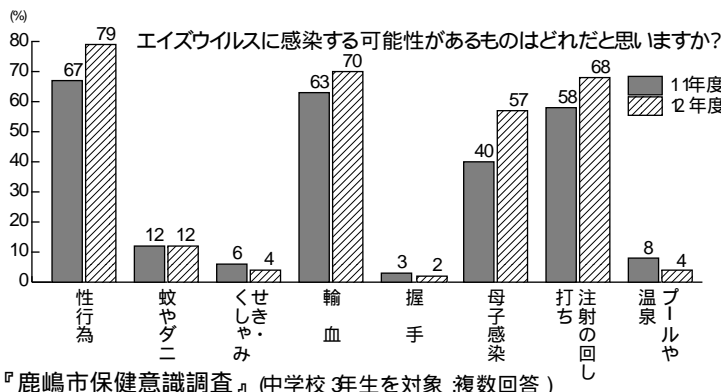
高校の学習内容

自分や他人を愛し、実践できる生徒

やさしさ

エイズの概要、感染経路、症状、まん延の原因、予防方法

エイズに伴って起きた社会問題の理解と偏見や、差別解消のための人格尊重と行動の実践



『鹿嶋市保健意識調査』(中学校3年生を対象、複数回答)

